サイン

年　組（　番）名前　　記入日　月　日

違反歩行者 加害者に

信号無視・斜め横断で事故誘発

歩行者が、交通事故の加害者として罪に問われる事例が相次いでいる。ルールを無視した歩行者が引き起こす重大事故が多発しているからだ。

「早く帰りたくて、信号が赤のまま横断してしまった」

歩行者として事故の刑事責任を問われた50歳代の男は、こう話したという。

事故は2021年7月の夜に高知市内の国道で発生。男は買い物帰りに子どもを抱っこして赤信号の横断歩道を渡り、バイクと接触した。バイクは転倒し、運転者は左手の骨を折る重傷を負った。男にけがはなかった。

高知県警は歩行者の過失が重大として摘発に踏み切った。担当した警察官は「歩行者も加害者になりうると警鐘を鳴らすことができた」と語る。

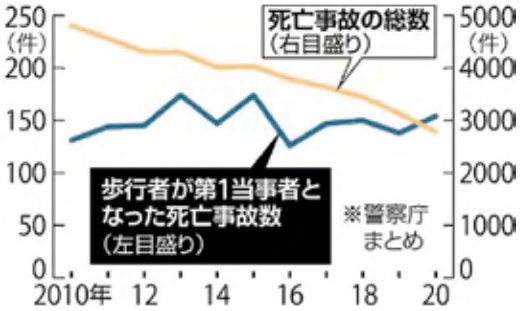
静岡市でも、信号無視をした歩行者と衝突したバイクの運転者が死亡し、歩行者が摘発された。道路交通法では歩行者の信号無視や斜め横断などに対し、2万円以下の罰金などの罰則を規定しているが、警察は近年、相手を死傷させるなどした事故ではより罰則が重い重過失致死罪などを積極的に適用している。

警察が追及姿勢を強めるのは、［　　］。

警察庁によると、交通事故全体の死者は30年以上、「乗車中」が最多だったが、08年以降は「歩行中」が最も多い。歩行者が事故の主な原因である「第一当事者」となった死亡事故は20年に154件で、過去5年間で最多だった。20年に事故で死亡した歩行者1002人のうち、約6割に違反があり、自らの行為が事故の原因となった可能性がある。

交通事故に詳しい実践女子大の松浦常夫教授は「厳罰化などでドライバー向けの施策は強化されて車の事故は減ったが、歩行者の対策は後回しになってきた。『車が加害者、歩行者は被害者』との意識が根強くあることが、悪質な行為につながっている」と指摘する。

（2022年1月25日 読売新聞大阪夕刊より）



1 高知市内の事故の原因となったのは、どのような違反行為ですか。4字で抜き出しましょう。

2 傍線部「警鐘を鳴らす」とは、「物事が悪い状況に向かっていることを指摘して、注意をうながす」という意味で使われる表現です。どのような状況を指摘して、誰に対して注意をうながしたのかをまとめました。

（　A　）状況について、歩行者も加害者になりうるという危険性を示し、（　B　）に向けて注意をうながした。

◇ Aにあてはまることを、記事中から28字で抜き出しましょう。

◇ Bに最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

① 50歳代の男　② バイクの運転者　③ 社会全体　④ 交通事故を担当する警察官

3 ［　　］にあてはまる説明として、最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

① 死亡事故の総数が増加傾向にある上、歩行者が主な原因となる割合も増えているからだ。

② 死亡事故の総数が減っている中、歩行者が主な原因となる割合が増加傾向にあるからだ。

③ 死亡事故のうち、歩行者が主な事故原因となった割合が運転者の割合を上回ったからだ。

④ 死亡事故のうち、運転手や同乗者が死亡した件数が、歩行者の死者数を上回ったからだ。

©読売新聞社 2022年　無断複製・転載を禁じます

★★ よむ YOMU ワークシート no.9 違反歩行者 加害者に ＜解答編＞

違反歩行者 加害者に

歩行者が、交通事故の加害者として罪に問われる事例が相次いでいる。ルールを無視した歩行者が引き起こす重大事故が多発しているからだ。

信号無視・斜め横断で事故誘発

「早く帰りたくて、信号が赤のまま横断してしまった」

歩行者として事故の刑事責任を問われた50歳代の男は、こう話したという。

事故は2021年7月の夜に高知市内の国道で発生。男は買い物帰りに子どもを抱っこして赤信号の横断歩道を渡り、バイクと接触した。バイクは転倒し、運転者は左手の骨を折る重傷を負った。男にけがはなかった。

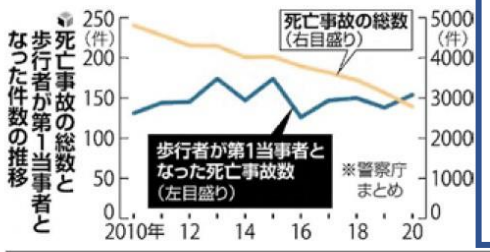
高知県警は歩行者の過失が重大として摘発に踏み切った。担当した警察官は「歩行者も加害者になりうると警鐘を鳴らすことができた」と語る。

静岡市でも、信号無視をした歩行者と衝突したバイクの運転者が死亡し、歩行者が摘発された。道路交通法では歩行者の信号無視や斜め横断などに対し、2万円以下の罰金などの罰則を規定しているが、警察は近年、相手を死傷させるなどした事故ではより罰則が重い重過失致死罪などを積極的に適用している。

警察が追及姿勢を強めるのは、[　　]。

警察庁によると、交通事故全体の死者は30年以上、「乗車中」が最多だったが、08年以降は「歩行中」が最も多い。歩行者が事故の主な原因である「第一当事者」となった死亡事故は20年に154件で、過去5年間で最多だった。20年に事故で死亡した歩行者1002人のうち、約6割に違反があり、自らの行為が事故の原因となった可能性がある。

交通事故に詳しい実践女子大の松浦常夫教授は「厳罰化などでドライバー向けの施策は強化されて車の事故は減ったが、歩行者の対策は後回しになってきた。『車が加害者、歩行者は被害者』との意識が根強くあることが、悪質な行為につながっている」と指摘する。



1 高知市内の事故の原因となったのは、どのような違反行為ですか。4字で抜き出しましょう。

信	号	無	視

「赤信号の横断歩道を渡り、バイクと接触した」とあります。このことを表す４字の言葉を探しましょう。

2 傍線部「警鐘を鳴らす」とは、「物事が悪い状況に向かっていることを指摘して、注意をうながす」という意味で使われる表現です。どのような状況を指摘して、誰に対して注意をうながしたのかをまとめました。

（　A　）状況について、歩行者も加害者になりうるという危険性を示し、（　B　）に向けて注意をうながした。

◇ Aにあてはまることを、記事中から28字で抜き出しましょう。

ル	ー	ル	を	無	視	し	た	歩	行	者	が	引	き
起	こ	す	重	大	事	故	が	多	発	し	て	い	る

A:字数ぴったりの場所がなかなか見つからず苦労した人はいませんか。新聞は、最初のリード文に記事の内容を分かりやすくまとめた「要約」が書いてあることが多いです。

◇ Bに最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

① 50歳代の男　② バイクの運転者　③ 社会全体　④ 交通事故を担当する警察官

③

B：記事の内容に「自分も気をつけよう」と思った人もいるのではないでしょうか。高知県警の摘発は社会全体に注意をうながすことができます。

3 [　　] にあてはまる説明として、最も適切なものを選び、番号を書きましょう。

① 死亡事故の総数が増加傾向にある上、歩行者が主な原因となる割合も増えているからだ。

② 死亡事故の総数が減っている中、歩行者が主な原因となる割合が増加傾向にあるからだ。

③ 死亡事故のうち、歩行者が主な事故原因となった割合が運転者の割合を上回ったからだ。

④ 死亡事故のうち、運転手や同乗者が死亡した件数が、歩行者の死者数を上回ったからだ。

②

グラフをみると、死亡事故の総数が減っているのに、歩行者が原因の事故がほとんど減っていません。このことから全体に占める歩行者が原因の事故の割合は「増えている」と言えます。

©2013 そにしけんじ／読売新聞社

読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

横断歩道で「手を上げて」

高校生研究「車88％止まる」

横断歩道で歩行者が手を上げれば、車の9割近くは止まってくれる――。女子高校生の研究結果をきっかけに、長野県では秋の全国交通安全運動（21～30日）で、横断歩道でのマナー向上に取り組むことになった。女子高校生は手を上げることで、車の停止率が大きく上がることを調べ、県警にマナーアップ運動を提案した。18日、交通安全運動の出発式で、「歩行者もドライバーも、お互いに思いやりを」と呼びかけた。

信号機のない横断歩道での車の停止率を調べたのは、長野市に住む県立屋代高校3年の松本瞳子（とうこ）さん（17）。道路交通法は歩行者がいる場合、車に停止義務があると定めているが、自宅近くの横断歩道では、止まらない車が多いと感じていた。中学時代、夏休みの自由研究の題材に選んで以降、5年間、調査を続けてきた。

自ら「歩行者役」となり、自宅近くの横断歩道で、渡る前に手を上げた時と、そうでない時の車の停止する割合を比較した。手を上げない時は35％（102台中36台）だったのに対し、手を上げた時は88％（50台中44台）だった。

長野駅前では通行人に声を掛け、日頃の運転について尋ねた。停止しない理由として「歩行者に気付かないことがある」という回答もあり、手を上げて、ドライバーに横断の意思を伝えることが大事だと考えた。

日本自動車連盟（JAF）の調査では、長野県は信号機のない横断歩道前での停止率が69％で全国1位。全国平均の17％を大きく上回る。それでも今年1～8月、横断歩道で1人が死亡、117人がけがをするなど、交通事故は後を絶たない。

（２０２０年9月１８日
読売新聞夕刊より）

興味深い自由研究ですね。

事故を減らすには、一人ひとりの心がけが大切です。

©2013 そにしけんじ／読売新聞社